

各 位

会 社 名 水道機工株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 古川 徹
 (コード番号 6403)
 問合せ先責任者 専務取締役 丸山 広記
 (TEL 03-3426-2131)

連結決算並びに個別決算における営業外費用、法人税等調整額の発生及び
 通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、「2024年3月期 決算短信」において公表いたしました2025年3月期通期の連結業績予想につきまして修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期連結業績予想の修正

(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	27,350	1,100	1,100	700	163円29銭
今回発表予想 (B)	28,840	1,300	1,100	300	69円99銭
増減額 (B-A)	+1,490	+200	0	△400	△93円30銭
増減率 (%)	+5.4%	+18.2%	—	△57.1%	—
(ご参考)前期実績(2024年3月期)	21,634	450	661	367	85円74銭

2. 2025年3月期連結業績予想の修正理由

(1) 売上高及び営業利益

当社グループのプラント建設セグメントにおいて、工事出来高検収が予想と比べ増加する見込みとなったこと、並びにO&Mセグメントでの堅調な受注増加をもとに収益計上が増加する見込みとなったことから、2025年3月期連結売上高が14億90百万円増加し、288億40百万円となる見通しであり、また、この売上高増加予想に伴い、営業利益が2億円増加し、13億円となる見通しであり、それぞれ予想修正を行うことといたしました。

(2) 経常利益

持分法適用関連会社である Suido Kiko Middle East 社 (以下、SKME 社) の持分法による投資損失が営業外費用として2億90百万円発生する見込みとなった一方で、前述の営業利益の増加等により、経常利益予想は11億円となる見通しです。なお、関連する営業外収益並びに営業外費用の詳細につきましては、「3. SKME 社への支援状況並びに連結決算への影響について」の通りとなります。

(3) 親会社株主に帰属する当期純利益

SKME 社への資金支援に関連して法人税等調整額の変動 (税金費用の増加) として2億80百万円が見込まれることと等により、親会社株主に帰属する当期純利益が4億円減少し、3億円となる見通しであり、予想修正を行うことといたしました。

3. SKME 社への支援状況並びに連結決算への影響について

(1) 持分法適用関連会社である SKME 社への支援状況について

当社は、持分法適用関連会社である在サウジアラビア国の SKME 社(当社出資比率 49%)が締結する工事請負契約に関し、現地金融機関が発行する銀行保証等に対して全額の債務保証を行っており、債務保証額は 2025 年 3 月期第 3 四半期末時点で 38 百万サウジリアル (16 億 10 百万円) となっております。

当社は、SKME 社が請け負った建設工事について、顧客への引き渡しまでの契約上の義務を確実に履行させることが、不測のリスクを回避することに繋がると判断し、2024 年 3 月期以降、現地パートナーとの合意のもとで出資比率に基づく資金支援を行うとともに、当社の債務保証を継続することで、同社が抱える工事案件の完工・引き渡しを進めてまいりました。その結果、2025 年 3 月期第 3 四半期末時点で、主な手持ち工事案件は 1 件となっております。

一方で、2025 年 3 月期第 3 四半期において、現地パートナーからの SKME 社への資金支援が滞ったため、当社から資金支援を先行して実行することで、残りの手持工事案件の完工・引き渡しを進めております。なお、当第 3 四半期末時点で本工事の進捗率は 95%程度に達し、2025 年 3 月末までに顧客への仮引き渡しを予定しており、2025 年 3 月期第 4 四半期においても引き続き当社が先行して所要の資金支援を行ってまいります。

これらの施策により、契約工事の完工による遅延ペナルティ等の回避、並びに契約工事に紐づく債務保証金額の減額を通じてリスク低減を図ってまいります。また、現地パートナーによる出資比率相当の資金支援等の負担に関して現地パートナーとの協議を継続して行ってまいります。

(2) 連結決算への影響について

当社 2025 年 3 月期連結決算につきまして、2025 年 3 月期第 2 四半期時点では、株主合意に基づく資金支援及び、当四半期累計期間での売掛金回収等により債務超過額が減少したため、SKME 社の持分法による投資利益を 6 億 34 百万円計上しておりましたが、2025 年 3 月期第 3 四半期におきまして、工事進捗に伴う追加コスト発生並びに販売費及び一般管理費、金融費用等の発生があった他、前述の当社からの資金支援の先行実行に伴い、当四半期累計期間での SKME 社の持分法による投資利益が 60 百万円に減少しました。

今後の見通しとしましては、引き続き契約工事の完工に向けて工事を進めることから、販売費及び一般管理費や金融費用等の発生が見込まれるとともに、個別決算において、先行資金支援に伴う貸倒引当金繰入額が営業外費用として 2 億 90 百万円程度増加する見込みであることから、本影響額を連結決算における営業外費用の持分法による投資損失として考慮した結果、経常利益予想を 11 億円として据え置くこととしました。

以上